

多様な食文化の発展を

プラネタリーヘルス

長崎大学の挑戦

5

最近、食品の値上げの二
ユースをよく耳にします。
その主な理由として、作物
の需要増や天候不順による
減収によって世界的に原材
料価格が高騰したこと、原
油価格の高騰によって輸送
にかかる費用や包装資材の
価格が上昇したことなどが
挙げられます。また、輸入
小麦についてはウクライナ
危機による供給懸念も一因
でしょう。こうした食料の
価格高騰の影響は、中東や
アフリカ諸国のような所得
の大半が食費に充てられる

途上国でより深刻であり、
国や地域によって状況が異
なります。
作物のほとんどは野外環
境で栽培されるため、作物
の収量や品質は天候の影響
を大きく受けます。作物の
生育過程を数式で表現した
シミュレーション・モデル
を用いた予測によれば、気



持田 憲一教授

情報データ科学部 教授

持田 憲一



Steffen W. Richardson K. Rockstrom J. et al. Planetary boundaries: guiding human development on a changing planet. Science. 2015;347(6223):1259855.をもとに改定

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。

候変動が進行した場合、今
世紀末の世界の穀物収量は
トウモロコシや大豆などで
減収するといわれているま
た場合の飢餓リスクの予測
によれば、気候変動に脆
い地域では、現在に比
べてより多くの食料を備蓄
する必要があり、これが指
摘されています。



同研究に関する
サイト

は、分野を超えた相互作用
においてトレードオフを最
小化するために、異なる分
野間の協働が重要です。同
時に、地球全体の健康を考
えつつも、プラネタリーヘ
ルスにおける課題を解決す
る上で地域多様性を捉え
ることも重要です。

(原則毎月第3木曜日付、
地方版に掲載します)